

星槎学園の紹介

星槎学園高等部湘南校（神奈川県二宮町）は星槎高校との技能連携で3年間で高校卒業資格を得ることができます。集団行動やコミュニケーションをとることが苦手な不登校気味の生徒が進学する高校です。生徒の学力は十分でなく、生活体験も希薄です。話すのが苦手、友達ができるのか、ずっと通い続けられるのかと不安な気持ちながらも高校はでたい、この学校ならやっつけようと気持ちを決めて入学してきています。授業は学習面のほか進学、デザイン、農業、メディアといった専攻ゼミやナンバーワンゼミという興味関心で選択する授業、宿泊やいろいろな行事があって、先生と生徒の関係は家族的です。その中で私が担当するのは週一で行っているナンバーワン美術ゼミです。

美術ゼミでの授業

美術ゼミには学園に併設されているフリースクールの生徒（中1～3）も参加するので年度によっては中1～高3まで在籍しています。ゼミ以外で接することはないので生徒の情報がほとんどありません。希望してきたゼミと言っても楽そう、特に絵を描きたいわけじゃないといった生徒もいて、専用の教室も保管場所もなく、欠席も多いので課題には苦慮します。授業開始の頃には小中学校時の図工美術授業での経験や自宅にある絵具や絵本、関心のある絵や作家のことなどを聞き出します。今までの美術の授業で楽しかったこと、苦手だったことも聞き出そうとしますが多くは寡黙か勝手なおしゃべりです。それでも絵の具はどこにあるのかわからないとか、ハサミや

カッターの経験もほとんどないことなど、また少しずつ不登校の原因なども話してくれました。障がいがある原因かどうかわかりませんが、先生や生徒同士の関係で行かなくなってしまったことが多いようです。

まずはリラックスするゲーム的な絵や折り紙、紙工作などを取り組み、その様子から学ぶ態度や器用さ、新しいことへの緊張感などを観察します。ちぎり絵やシール版画や切り絵、スクラッチ画、ゼンタングル、マーブリングなど、苦手意識のない、見通しができる課題を取り入れました。物を見て自分の思いを表現する絵画を描くことは最終目的にして、与えられた課題でも自分の個性を出して主体的に取り組む気持ちをはぐくむように接していきました。



花 中1



シール版画 高2



スラッチ 高1



ゼンタングル 高1